

# TED<sup>x</sup>Hamamatsu

x = independently organized TED event

パートナーシップのご提案

# TEDについて



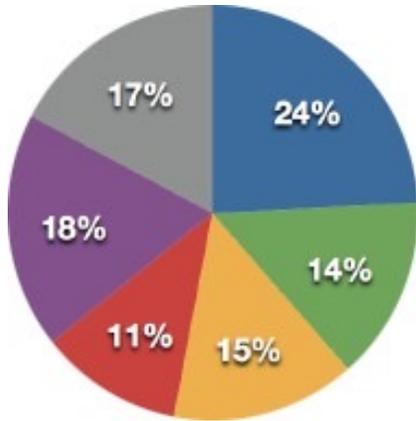
TED（テッド）という名称は、テクノロジー、エンターテインメント、デザインの頭文字から成りたっており、この3者が一体となって未来を形作るという考えに由来します。1984年に米国で始まり、近年は3月に北米で開催するTEDカンファレンス（2013年までカリフォルニア、2014年からはバンクーバー）と、北米以外で開催するTEDグローバル（2013年までエジンバラ、2014年はリオデジャネイロ、2017年はタンザニア）として定着しました。「Ideas worth spreading（広める価値のあるアイデア）」を理念とする非営利団体です。

これまでビル・クリントンやビル・ゲイツなどの有名人から、ノーベル賞受賞クラスの科学者や研究者、無名でも価値あるアイデアを持つ人たちがTEDのステージで人の心を動かすプレゼンテーションを行い、世界的な評価を得てきました。

TEDのプレゼンテーションはインターネットで全世界に配信されており、昨今ではNHKのスーパープレゼンテーションという番組でも話題になっているため、ご覧になっている方も多かもしれません。世界最高峰のプレゼンテーションの舞台として、登壇に憧れる方も少なくありません

# TEDスピーカー

テーマの分類



緑: Entertainment  
赤: Business  
灰: Global Issues  
青: Technology  
黄: Design  
紫: Science

<スピーカーの例>

- ・ スティング (ミュージシャン) 「再び曲を作り始められたわけ」
- ・ ビル・クリントン (政治家) 「ルワンダの再建」
- ・ ビル・ゲイツ (実業家) 「ゼロへのイノベーション」
- ・ ジェームズ・キャメロン (映画監督) 「アバターを生み出した好奇心」
- ・ マイケル・サンデル (政治哲学者) 「失われた民主的議論の技術」
- ・ ミシェル・オバマ (元ファーストレディ) 「教育への願い」



# TEDxについて

TEDxとは、

TEDから正式にライセンスを受け、TED同様の体験を共有することを目的として世界各地で独自に運営されているイベントです。TEDの定めた運用ルールに沿いながら、各地方の独自色を出して運営されています。なお「x」は独自に運営されている、ということを示します。

TEDxの開催は、2009年から2014年5月までの間に世界167カ国（249カ国中）にまで拡大し、延べ開催数は10,000回を突破しています。

TEDxの詳細については下記のウェブサイトから内容をご確認いただくことができます。

<http://www.ted.com/tedx/>



# TEDxHamamatsu について

「**TEDxHamamatsu**」は、浜松の街から独自の価値あるアイデアを発信し、世の中をより良く変えていきたいと願う有志によって結成され、2014年10月に（初年度）ライセンス認定されたコミュニティ（非営利団体）です。

2015年9月に第1回目となる「**TEDxHamamatsu**」を開催しました。

第6回目となる今年は、2022年4月にライセンス認定され、2022年11月13日にプレゼン形式のカンファレンスイベント「**TEDxHamamatsu 2022**」を開催することが決定しています。

浜松の地域生活、産業、文化、伝統を刺激するアイデアを発信すると同時に、この地域を刺激するアイデアを世界から取り入れます。近くにいることで気づかなかった魅力、少し離れて改めて気づく魅力、視点を変えたり見方を変えたりすることで、新たな気づきが生まれることを期待します。

# TEDxHamamatsu 2022 開催概要



- 開催日：2022年11月13日（日）  
11:00 開場  
13:00 セッション開始  
18:00 アフターパーティー  
(\*当日のタイムスケジュールは予定です。)

- 開催場所:Co Startup Space & Community  
FUSE

- スピーカー：選考中（6～8名を予定）

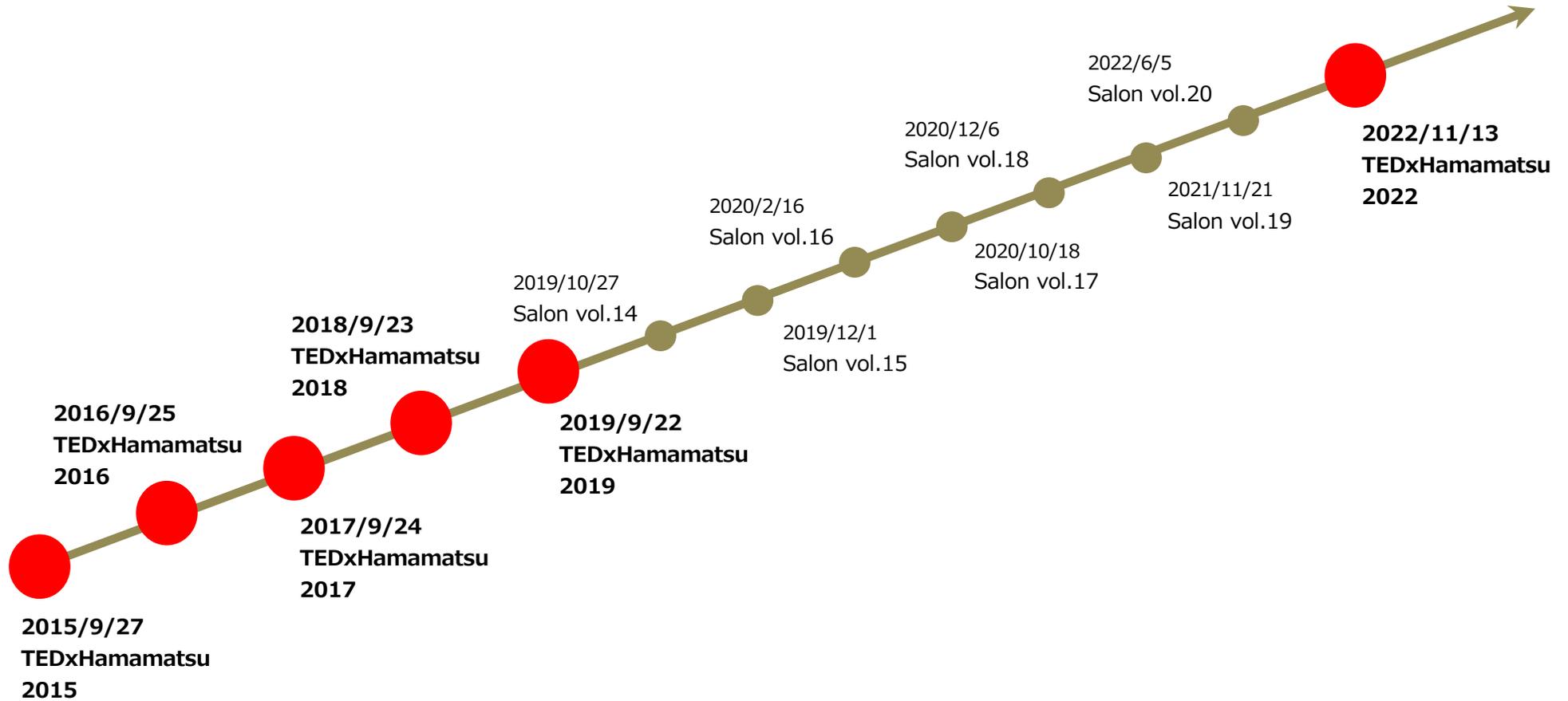
- パティシパント：100～120名を予定  
(事前申込制)

- テーマ：EXPLORE



会場となるFUSE

# TEDxHamamatsu これまでのあゆみ



# TEDxHamamatsu 2015 スピーカー

※肩書き・経歴は登壇時のもの



莊司 哲  
Satoru Shoji

あそびの仕掛け人  
奥浜名湖ツーリズムガイド

1984年富士宮市生まれ  
浜松市在住

『何もないところへでかけよう』

2011年に奥浜名湖に煌星のごとく現れ、「観光」の概念を覆した「あそびの仕掛け人」にして「今を楽しむ達人」



浅沼宏和  
Hirokazu Asanuma

経営ストラテジスト  
税理士・公認内部監査人

1963年浜松生まれ  
浜松市在住

『新たな一歩にきっかけはいらない』

仕事論や経営戦略論を中心的なテーマとして全国各地で精力的に講演をこなし、一般企業から教育、金融、医療、公的機関などから厚い信頼を得ている



前田剛志  
Takeshi Maeda

天竜の山のきこり  
Kicoro 代表

1974年生まれ 千葉県出身  
浜松市在住

『山と街をつなぐ顔の見えるきこり』

天竜の山で林業に従事するかたわら、これから先100年を見据えた新しい森づくりをする森のデザイナー



木村雅和  
Masakazu Kimura

産学連携界の異端児  
静岡大学 理事 副学長

1960年清水市（現静岡市清水区）生まれ  
浜松市在住

『出る杭を伸ばす教育』

長年、静岡大学イノベーション社会連携推進機構を率いて産学連携の可能性を切り拓き、さらにもこから一歩進んで長期的な人材育成に挑んでいる



水野仁輔  
Jinsuke Mizuno

ノーキャリア・ノーライフ  
出張料理人

1974年浜松市生まれ  
東京都在住

『黄色い封筒をめぐる冒険』

出張料理集団「東京カリ〜番長」をはじめユニークな活動で料理人のみならず、有名人・著名人にも愛されカレー界の宝的存在。



佐々木幸弥  
Sachiya Sasaki

デジタル音響機器開発技術者  
音響文化研究者

1963年生まれ 岩手県出身  
浜松市在住

『手回しオルゴールと3つの提案』

デジタル音響機器の開発に従事するかたわら、サウンド・エデュケーション、音のユニバーサルデザインの研究、音具収集、自然音や民俗芸能など幅広い音のフィールドワークに取り組んでいる音響文化研究者・美大非常勤講師

# TEDxHamamatsu 2016 スピーカー

※肩書き・経歴は登壇時のもの

ブレット・メイヤー  
Bret Mayer



漢字教育士  
言語文化スペシャリスト

1982年アメリカニュージャージー州生まれ  
浜松市在住

『漢字は物語であり、アートであり、玩具である』

非漢字圏生まれ育ちとして初めて漢検1級に合格したアメリカ人自らを「漢字ヲタク」と称するブレットさんは、英会話教師、翻訳者を経て、現在は立命館大学認定の漢字教育士としても活躍

鈴木ステラ  
Stela Suzuki



浜松インターナショナルスクール初代校長  
浜松学院大現代コミュニケーション学部在学中

1994年フィリピン生まれ  
浜松市在住

『なぜ人は学び続けなくてはいけないのか』

英語・日本語・タガログ語のトライリンガル 生まれ故郷で叔母から叩き込まれた言葉は『知識は唯一の財産』その言葉を胸にフィリピンの飛び級制度に合格し5年間で小学校を卒業する

佐藤真琴  
Makoto Sato



社会事業家  
看護師  
株式会社PEER 代表取締役

1977年浜松市生まれ  
浜松市在住

『ひとを幸せにするものづくりと一緒にやりませんか？』

社会人を経て進んだ看護学校での実習中に白血病の患者と出会い、その生きにくさを知りなにかできることはないかと在学中に起業するも、患者のニーズがものづくりの現場に伝わらないことを痛感

針山孝彦  
Takahiko Hariyama



国立大学法人浜松医科大学  
医学部教授

1952年東京生まれ  
浜松市在住

『見えないものを見る-生き物から学ぶ暮らしのヒント』

日本のバイオミメティクス（生物模倣、生物がもつ優れた機能を工学・医療などに生かそうという技術）の第一人者  
電子顕微鏡で生きた生物試料の観察を可能にした表面保護被膜NanoSuit®（ナノスーツ）開発者

杉山雅彦  
Masahiko Sugiyama



写真家  
ジャパニメーションフォトグラファー  
フォトスタジオピース代表

1972年静岡市生まれ  
静岡市在住

『「徹底的に楽しむ」がぼくに教えてくれたこと』

サラリーマン生活に終止符を打ち、実家の写真スタジオでカメラマンになるが、自分にしかできない物を追い求め、新しい写真家としての道を切り開く

佐藤圭太  
Keita Sato



リオデジャネイロパラリンピック  
陸上日本代表

1991年静岡県藤枝市生まれ  
豊田市在住

『障がい者が障がい者でなくなる日』

小学4年生からサッカーを始め、15歳の時にユースイング肉腫にて右足の膝下を切断  
高校入学とともにリハビリのつもりで陸上部に入り、競技を始める

# TEDxHamamatsu 2017 スピーカー

※肩書き・経歴は登壇時のもの



野崎舞夏星  
Manaho Nozaki

女子相撲選手  
立命館大学相撲部

1996年浜松市生まれ  
京都府在住

『一瞬の勝負に魅せられて』

小さくても大きい相手に勝てる  
高校3年生で女子相撲世界一の座を手にし、  
軽量級では日本人初となる快挙をなす一見すると  
普通のかわいい女子大生その中には熱  
いアスリートの血がたぎっている



土井寛之  
Hiroyuki Doi

スポーツアプリ開発  
者ウィンドサーファ  
ー株式会社SPLYZA  
代表取締役

1975年神戸市生まれ  
浜松市在住

『7/7 ワクワクするために』

アマチュアスポーツを楽しむ人たちが「もっ  
と上手になりたい」と思うその気持ちを大切に  
にしたい。彼らをもっとワクワクするために  
、僕たちにできることは何たる展開するス  
ポーツ支援アプリ開発事業の根底にはそんな  
思いが溢れている



ホセ川島良彰  
José. Yoshiaki  
Kawashima

コーヒーハンター  
株式会社ミカフェート  
代表取締役社長

1956年静岡市生まれ  
東京都在住

『コーヒーの新しい文化のために』

珈琲焙煎卸業の長男として生まれ、コーヒ  
ー豆に囲まれて育った川島は、海を渡り、や  
がて世界屈指の「コーヒーハンター」と呼  
ばれるようになる



袴田 匠  
Takumi Hakamata

ヨーヨーパフォーマ  
ー  
高校3年生

1999年浜松市生まれ  
浜松市在住

『がむしゃらにやり続けた先に見えたもの』

10歳の春、友達が遊んでいたハイパーヨー  
ーと出合ったことがきっかけとなりヨー  
ーに心酔。地域のコンテストに参加し始め、各  
種大会優勝、準優勝など、一気に世界のヨー  
ーシーンの頂点をうかがう存在へと登りつ  
めた



山極芳樹  
Yoshiki Yamagiwa

宇宙工学研究  
静岡大学工学部教  
授  
1958年滋賀県出身  
浜松市在住

『エレベーターで宇宙へ』

小学生の頃から「宇宙へ行きたい」とい  
う夢を抱き大学時代には、「宇宙に行く  
ために、誰でも宇宙に行けるシステム  
をつくりたい」との思いで宇宙工学を志  
し「宇宙エレベーター」をはじめとする  
将来型宇宙輸送システムの基礎研究にい  
そしんできた



山田ゆか  
Yuka Yamada

トイレットペーパー芯  
リサイクルアーティスト

1971年東京都生まれ  
掛川市在住

『特別なことはあたりまえの中にある』

トイレットペーパーの芯を使ったりサイクル  
アートは使い捨てることに慣れた消費社会で  
暮らす人たちに、立ち止まり振り返るきっ  
かけを与えてくれるものた



畑山響子  
Kyoko Hatayama

管理栄養士  
低糖質おやつとコーヒー  
Locco 店主

1985年静岡市生まれ  
静岡市在住

『おやつの時間がくれたもの』

「血糖値が気になる人でも安心して食べられ  
るおやつを」自ら糖尿病と闘ってきた経験をも  
とに、低糖質おやつの研究を続けてきた  
その取り組みは、同じ病を持つ人に希望の光  
をもたらしている



池野文昭  
Fumiaki Ikeno

MedVenture Partners  
株式会社取締役

1967年浜松市生まれ  
アメリカカリフォルニ  
ア州シリコンバレー在  
住

『僻地医療が伝える未来』

まだ日本に根付いていない医療機器ベンチャ  
ー起業の支援体制確立を目指し、日米を往復  
しその実現に向け情熱を傾ける  
日本の医療現場の課題とアメリカの医療機器  
ベンチャーの双方を知る池野氏への期待は大  
きい

# TEDxHamamatsu 2018 スピーカー

※肩書き・経歴は登壇時のもの



彌田 徹  
Toru Yada

エアラインパーター  
建築家

1985年大分県生まれ  
浜松市在住

『“つくる”と“つかう”の応答で街が変わる』

建築家としておしゃれな空間を「つくる」だけでなく、街の「使い方」を広げる活動こそがそのかなめ個人でもまちづくりプロジェクトにかかわる



今井紅里  
Akari Imai

県立高校分校  
野球部マネージャー

2001年浜松市生まれ  
浜松市在住

『小さな看板の大きな力』

「地域を盛り上げるために野球部がある」という顧問の言葉に、あるアイデアを思いつく。彼女の取り組みは、やがて地域のコミュニティを変えていく



ジュニオール・マエダ  
Junior Maeda

写真家  
フォトジャーナリスト

1975年  
ポルト・アレグレ市生まれ  
浜松市在住

『写真の可能性 -  
「デカセギプロジェクト」を通して』

日系ブラジル人を被写体として、90年代の「出稼ぎ」労働者を再現する写真を数多く発表してきた



鈴木良和  
Yoshikazu Suzuki

バスケットボールの  
家庭教師

1979年茨城県生まれ  
埼玉県在住

『どちらも捨てがたい二択で迷った時の考え方』

バスケットボールの家庭教師という事業を立ち上げ、日本中の子どもたちにバスケットボールを指導しながら、ジュニア期のコーチ育成を行なっている



渡部清花  
Sayaka  
Watanabe  
難民の社会活躍機会の  
創出

1991年旧三ヶ日町  
(現:浜松市)出身  
東京都在住

『Not talk ABOUT refugee but talk WITH refugee  
～難民問題を話すのではなく、難民「と」話そう～』

日本に希望を求めてやってくる難民または、難民申請者を対象に難民ホームステイや空き家活用型シェアハウス事業、就労移行事業に取り組む



伊藤亜由子  
Ayuko Ito

ショートトラック  
スピードスケート選手

1986年浜松市生まれ  
愛知県豊田市在住

『努力の先にあった夢のかたち』

3度のオリンピック出場を果たした女子スピードスケート選手  
ソチ五輪のあと現役引退をするが、競技を支える裏方を経験し、スケートへの思いを再確認



須山温人  
Atsuto Suyama

自動運転車のサービスや  
システム開発

1984年浜松市生まれ

『自動運転バスが持続可能な未来をつくる』

公共交通であるバスの自動運転に取り組む  
2017年には、国内初の公道での実証実験も成功し、実用化に弾みがついている

# TEDxHamamatsu 2019 スピーカー

※ 肩書き・経歴は登壇時のもの



和久田麻衣  
Mai Wakuda

ランドセルプランナー

1979年磐田市出身  
浜松市在住

『当たり前を見直そう』

子どもたちの身体に負担をかける重たいランドセルに疑問を持ち、元同僚と起業。デザイン性に優れ、機能性が高いえに安価なランドセルを開発。



勝野美葉子  
Miyoko Katsuno

デザイナー

1995年伊豆市生まれ

『もしあなたもデザインを学んだら』

高校3年の時、デザインのでかきに惹かれ静岡文化芸術大学に進学。卒業後、「地域に根ざしたコトづくり」を掲げ、修善寺燕舎を開始。地域活性化を目指し、活動を続ける。



宮地 誠  
Makoto Miyachi

マーケットイノベーター

1974年浜松市生まれ

『農業の未来を拓く流通の変革』

青果市場で得た経験をもとに農業が抱える危機を解決するため「根本的解決」を追求し、独自のスマート農業で“儲かる農業”を実践。その高い技術は国内だけでなく海外からも注目されている。



大西健太郎  
Kentaro Onishi

ダンサー、パフォーマンスアーティスト

東京藝術大学大学院修了

『O「オー」の影』

その場所・ひと・習慣の魅力と出会い「ころがおどる」ことを求め続けるパフォーマー。2018年米エクアドルで地域住民との協働パフォーマンス〈El Azabiro de La Tola〉を公演。



大谷純應  
Juno Ohtani

法多山尊永寺 住職

1968年袋井市生まれ

『お寺を楽しみと喜びの場所へ』

大学と修行のため離れていた8年間の空白を埋めたいという気持ちから、消防団など地元の活動に参加。「コミュニティの場としての寺院」を目指し、法多山のあり方に大きな影響を与えている。



静岡聖光学院ラグビー部  
Shizuoka Seiko Gakuin  
Rugby Team

1974年創部  
所在地 静岡県駿河区

『限られた環境の中で主体的に目的を成し遂げるためには』

真の文武両道を目指し「成し遂げる」という部訓のもと、この量より質を追求する練習の成果として、何度も花園出場を果たす。“工夫した練習を先進的に取り組んでいる事例”として、スポーツ庁長官も視察に訪れるほどである。



幡野広志  
Hiroshi Hatano

写真家、元狩猟家

1983年、東京生まれ

『誰かの幸せを願えること。』

2017年、多発性骨髄腫という血液のガンを発症。自身のガンを公表し、当事者としての率直な思いを発信し続けている。その言葉は私たちの気持ちを揺さぶり、大きな反響を巻き起こしている。

# TEDxHamamatsu の様子



# メディア掲載実績



## マスコミ、WEBメディアからも注目

TEDxイベントは、一部の限られた人だけのものではありません。価値あるアイデアを発信し浜松エリアを刺激する活動は、メディアにも注目され、毎年多くの媒体で報道されてきました。こうして、年を経るごとにTEDxHamamatsuの認知度も高まっています。また、スピーカーの皆さんも、登壇後にさまざまなメディアに多数取り上げられています。

### 【掲載メディア】

- 2015年：日経新聞、浜松経済新聞、Yahooニュース、K-mix、WebTVあなフロ
- 2016年：日経新聞、中日新聞、浜松経済新聞、K-mix、WebTVあなフロ
- 2017年：朝日新聞、静岡新聞、中日新聞、K-mix、ケーブルテレビウインディー
- 2018年：静岡新聞、FM Haro、ケーブルテレビウインディー

# パートナーシップのバリュー



(写真：TEDxTokyoの様様)



(写真：TEDxTohokuの様様)



(写真：TEDxHamamatsuの様様)

## 影響力・発信力のある参加者へのアピール

TEDxイベントは、他のイベントとは異なり、スピーカーだけでなく、パティシパントにも社会的に影響力・発信力のある方が多いことが特徴です。そもそも、TEDに関心のある方は新しい情報やアイデア、自己研鑽や自己探求に関心のあることが特徴です。

すでに活発に活動され、社会的に影響力のある方々が、ご自身の感想や思いをソーシャルメディア等を通して広く伝播し多くの人目に留まるこの機会は、パートナーとなってくたさる企業の皆様にとっての大きな価値と考えます。

# パートナーシップのバリュー



## 新たなアイデアから刺激を受ける

TEDxイベントは、知的好奇心を大いに刺激するイベントです。

さらに、普段交流したことのない人と、年齢も性別も属性も関係なくフラットな状態でトークの内容について語り合ったり、トーク自体が刺激的な内容で、今までの経験や知識を根底から見直すきっかけになるかもしれません。

こうした空間に参加すること自体が、インハウスの研修とは違って、単なる座学では終わらない「知の刺激」からくる「体験の共有」となっていくます。これは人間に生来備わっている能力である、クリエイティブな力を発揮する刺激となり、日常に戻っても常に「アイデアを創造する習慣」へと人を変化させることでしょう。

# パートナーシップのバリュー

## 多彩なネットワークの創造

- ・ 『アフターパーティ』 11/13 Sun. (当日)  
イベント当日にスピーカー、パートナー、パティシパント、TEDxスタッフを交えたアフターパーティーを予定

またイベント中もブレイク等で、今まで出会ったことのない方々同士の交流をするよう様々な仕掛けをしております。

様々な分野の人々と交流することにより、今までにないネットワークを創造することができ、TEDxHamamatsuをきっかけに、すでに交流のあった企業様同士でも新たな交流やビジネスにつながったとの嬉しいお話も聞いております。



# パートナーシップのバリュー

## 世界からの注目

TEDxHamamatsuのサイトには世界中からのアクセスがあります。

また、イベント終了後、トーク動画はYoutubeで閲覧できるようになります。優れたトークはTEDのサイトで直接紹介されたり、TEDxのオフィシャルなチャンネルであるブログやFacebook、Twitter、Instagramにて紹介されます。

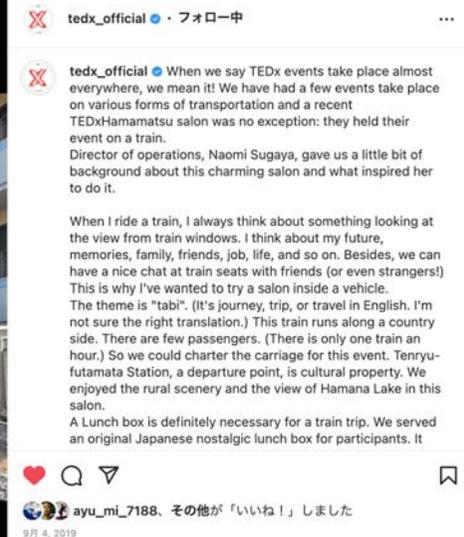


TEDxHamamatsu Speaker



TEDxHamamatsu Blog

\* Youtube 動画には、Core Partner 企業様の Logo が掲載されます



TEDx facebook ページでは、190万の「いいね！」を頂いています。

<https://www.facebook.com/TEDxEvents/?fref=ts>

TEDx twitter には50万人のフォロワーがいます。

<https://twitter.com/TEDx>

TEDx instagramのオフィシャル

[https://www.instagram.com/tedx\\_official/](https://www.instagram.com/tedx_official/)

# 2019年パートナー

## Core Partners



## Standard Partners



## Logo Partners



## In-Kind Partners



(※ロゴ掲載順不同)

# パートナーシップの種別

## 1. Core Partner

2. Standard Partner
3. Logo Partner
4. In-Kind Partner
5. Supporting Partner

- イベントへの参加チケット 3～5名（要事前登録）
- 公式ウェブサイト、プログラム、会場休憩スペース1箇所での掲示物等及び  
**YouTube動画**へのロゴ掲載  
(ロゴの大きさ等はパートナープランにより異なります。別途ご説明。)
- 参加者への企業宣伝グッズの配布（3～4点まで可）
- 企業ブース・パートナー企業様同士のコラボレーションのコーディネート、御提案

# パートナーシップの種別

1. Core Partner

2. **Standard Partner**

3. Logo Partner

4. In-Kind Partner

5. Supporting Partner

- イベントの参加チケット 2枚 (要事前登録)
- 公式ウェブサイト・プログラム・会場休憩スペース1箇所でのロゴ掲載 (ロゴの大きさ等はパートナープランにより異なります。別途ご説明。)
- 参加者への企業宣伝グッズの配布 (2点まで)
- 企業ブース・パートナー企業様同士のコラボレーションのコーディネート、御提案

# パートナーシップの種別

1. Core Partner
2. Standard Partner

## 3. **Logo Partner**

4. In-Kind Partner
5. Supporting Partner

- イベントへの参加チケット（1名）
- 公式ウェブサイト・プログラム・会場休憩スペース1箇所でのロゴ掲載（ロゴの大きさ等はパートナープランにより異なります。別途ご説明。）
- 参加者への企業宣伝グッズの配布（1点まで）

# パートナーシップの種別

1. Core Partner
2. Standard Partner
3. Logo Partner

## 4. In-Kind Partner

(イベントで必要になる物品やサービスのご提供)

公式ウェブサイト・プログラム・会場休憩スペース1箇所でのロゴ掲載  
(ロゴの大きさ等はパートナープランにより異なります。別途ご説明)

\* ご提供内容の50%分の金額を支援額として計算させていただきます。

## 5. Supporting Partner

(後援いただいた団体や公共機関が該当します)

# パートナーシップ属性

種別	金額		イベント ブース展示	イベント 無料 チケット	イベント優 待 チケット	Meet Up 参加	ロゴ	
	年間*	スタンダード のみ					公式サイト プログラム	YouTube
Core	60万~	50万~	○	3~5	3~5	3~5	特大	○
Standard	20万~	10万~	○	2	2	2	大	—
Logo	10万~	5万~	△	1	1	1	中	—
In - Kind	—	—	○	—	1	—	小	—

# お問い合わせ

※全てのパートナー企業関係の参加者様は、パティシパント参加費を半額とさせていただきます。  
(例：スタンダードパートナー様2名と一緒に参加のお取引先1名様)

※その他、詳細は企業様により個別にご相談させていただきます。

## ● パートナーシップに関するお問い合わせ

パートナーチーム      河口 哲也      090-3483-7644      [partner.team@tedxhamamatsu.com](mailto:partner.team@tedxhamamatsu.com)  
   坂田 越  
   水上更紗

## ● PR活動・広報に関するお問い合わせ

メディアチーム      鈴木 楓      [media.team@tedxhamamatsu.com](mailto:media.team@tedxhamamatsu.com)

## ● 全てのお問い合わせ

オーガナイザー      河口 哲也      090-3483-7644      [tetsuya.kawaguchi@tedxhamamatsu.com](mailto:tetsuya.kawaguchi@tedxhamamatsu.com)

*Thank You*